

公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学  
平成26事業年度の業務実績に関する  
全体評価結果

平成27年7月

大分県地方独立行政法人評価委員会

## 1 全体評価

### 評価結果と判断理由

#### 評価結果

全体として年度計画を順調に実施している。

#### 判断理由

① 大項目のうち「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」の項目についてはS評価（特筆すべき進行状況にある）、「Ⅱ業務運営の改善及び効率化に関する目標」、「Ⅲ財務内容の改善に関する目標」、「Ⅳ自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」、「Ⅴその他業務運営に関する目標」のいずれの項目もA評価（計画どおり進んでいる）であること。

② 「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」に関して、情報コミュニケーション学科のコース再編など、学修ニーズに応える魅力あるカリキュラム編成に積極的に取り組んでおり、学生の確保や高い県内就職率など成果が現れていること。

キャリア教育と資格取得支援の拡充などにより、就職率は92.7%、進学率は95.7%と、ともに目標の90%を上回るとともに、県内就職率は75.9%と若者の定着に貢献していること。

芸術文化ゾーンとの連携によるOPAM開館記念展に招待する6万人の小学生向けパンフレットのデザイン制作やオペラフェスティバルの開催、また、公開講座の本格実施など、地域社会への貢献に向けた取組を充実強化していること。

生涯学習への取組として、専門的な公開講座を継続して実施したほか、地域ふれあいアート講座や地域巡回演奏会等、日常において芸術文化に触れる機会の少ない地域での活動に努めたこと。また、各学科がそれぞれの特徴を生かしながら、地域との協働やまちづくりへの参画等、地域に根付いた活動を重ね、地域の期待に応えていること。

#### <委員会からのコメント>

学科やカリキュラムの改編、地域貢献活動等の取組の結果が、学生の確保や県内就職率などの成果として現れている。

【参考：大項目評価の結果】

I 教育研究等の 質の向上	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
II 業務運営の改 善及び効率化	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
III 財務内容の改 善	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
IV 自己点検・評 価及び情報提供	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
V その他業務運 営	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり

公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学  
平成26事業年度の業務実績に関する  
項目別評価結果

(大項目評価)

平成27年7月

大分県地方独立行政法人評価委員会

## 2 大項目評価

### I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

#### (1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

#### (2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、31項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
- ②国際総合学科では、新学科設置後2年間の学修成果として、卒業生の最終的なコース選択状況とコースごとの資格取得状況を検証し、全体的な整合性を確認したこと。
- ③インターンシップの事前・事後指導の充実、学生の進路希望に沿ったキャリア教育と資格取得支援を拡充し、より幅広い進路希望への対応を行ったことにより、就職率は92.7%、進学率は95.7%と、ともに目標の90%を上回ったこと。
- ④OPAM開館記念展に招待する6万人の小学生向けパンフレットのデザイン制作やオペラフェスティバルの開催など、芸術文化ゾーンと連携した新たな取組を開始したこと。
- ⑤地域に開かれた大学として、公開講座の充実に取り組んだ結果、内容と選択科目の多さから、受講者に高評価であったこと（47講座、1,671名受講）。

#### 【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 教育の内容及び到達目標
- ・教育課程と「学位授与方針」や「教育課程の編成・実施方針」との整合性を点検し、結果をキャンパスガイドやシラバス等に反映させた。国際総合学科では、新学科で2年間の学修成果として、卒業生の最終的なコース選択状況とコースごとの資格取得状況を検証し、全体的な整合性を確認した。
- 教育の実施体制
- ・新たに入試広報専門員を配置し、県内外の高校訪問や進学ガイダンスに積極的に参加して情報収集や大学のPRを行った。
- 学生への支援
- ・インターンシップの実施体制を見直し、単位認定を伴う授業科目として実施することとしたほか、単位認定しない1日間の実習「職業見学」の導入に向け、制度を整備した
  - ・学生の進路希望を調査し、就職・進学それぞれに対応した進路支援プログラムを策定した結果、平成26年度卒業生の内定率は、全学92.7%（芸術系86.0%、人文系95.0%、専攻科90.3%）で、目標値90%を大きく上回った。
- 地域社会への貢献
- ・OPAM開館記念展に県下の小学生6万人を招待する事業のための児童向けパンフレット及び教師向け指導冊子の編集デザインを本学専攻科造形専攻の学生チームが制作した。
  - ・半期の継続的専門講座として公開講座（芸短オープンカレッジ）の充実を図り、幅広い分野で実施した結果、内容と選択科目の多さから受講者に高評価であった。  
前期：23講座、972名 後期：24講座、699名 合計：47講座、1,671名受講
  - ・国語大学と国際交流協定及び覚書（編入生受入）を締結した。27年度は釜山外国語大学に4人が編入する予定。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
教育	22(12)			12(4)	10(8)
研究	4(1)			3	1(1)
社会貢献	5(2)			2	3(2)
合計	31(15)			17(4)	14(11)
ウエイト考慮 後の合計	46			21	25

(注) 1 ( ) は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、31項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価(計画どおり進んでいる)となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

<p>進路支援活動(小項目No.8)に関して、就職率、進学率ともに目標を上回っていることから、委員会評価はⅣとする(法人自己評価はⅢ)。</p> <p>留学生・障がいのある学生支援策(小項目No.9)に関して、既に運用(実践)して目標を上回っていることから、委員会評価はⅣとする(法人自己評価はⅢ)。</p> <p>江漢大学との交流(小項目No.16)に関して、27年度は5名の受入れが決定するなど、順調に成果が現れている。</p>
--

## Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

### (1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

### (2) 判断理由

①小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○運営体制  
事務処理の効率化のため、新たな財務会計システムを導入した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
運営体制	5			4	1
人事の適正化	3 (1)			2 (1)	1
業務の選択と集中	1 (1)				1 (1)
合計	9 (2)			6 (1)	3 (1)
ウエイト考慮 後の合計	11			7	4

(注) 1 ( ) は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

### (3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

### Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

#### (1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

#### (2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
- ②国立情報学研究所の共用システムを活用し、平成26年10月1日、創刊号以降の大学研究紀要のデジタルデータの公開を開始したこと。

#### 【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 自己収入及び外部資金の獲得
- ・科学研究費補助金 3,666千円（新規4件 2,496千円、継続2件 1,170千円）  
文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」補助金 5,782千円 等
- 資産の適正管理及び有効活用
- ・国立情報学研究所の共用システムを活用し、平成26年10月1日、創刊号以降の大学研究紀要のデジタルデータの公開を開始した。534タイトルの論文等を登録し、半年間で35,000件以上のアクセスがあった。

#### 【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
事務効率化・ 経費抑制	3			2	1
自己収入・外部 研究資金の獲得	3(1)			2(1)	1
資産の適正管 理・有効活用	3			2	1
合 計	9(1)			6(1)	3
ウエイト考慮 後の合計	10			7	3

(注) 1 ( ) は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、9項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

#### (3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

IV 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

①小項目評価の集計結果では、4項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○情報公開や情報発信の推進  
 ・各科の魅力や取組を分かりやすく検索できるよう、HPをリニューアルするとともに、英語・韓国語・中国語の翻訳機能を付け、海外の方でも本学の情報収集ができるようにした。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
自己点検・ 自己評価	1			1	
情報公開・ 情報発信	3(1)			2	1(1)
合 計	4(1)			3	1(1)
ウエイト考慮 後の合計	5			3	2

(注) 1 ( ) は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、4項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

V その他業務運営に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

①小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○大学の安全管理  
 ・警察業務の継続性確保のため、大規模災害時に本学を代替施設として提供することについて大分中央警察署との間で協定を締結した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
施設・設備の 整備・活用	1 (1)			1 (1)	
安全管理	5			4	1
人権啓発推進	4			3	1
合 計	10 (1)			8 (1)	2
ウエイト考慮 後の合計	11			9	2

(注) 1 ( ) は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし